

学生時代を振り返り語り合う(左から)末永英司社長、水谷泰三社長、青木武志社長、矢島薫社長＝岐阜市長良福光、都ホテル岐阜長良川



イビデン×文溪堂×本社 関西大OB、思い出披露 岐阜千里会で3社長トーク

関西大(大阪府吹田市)の卒業生でつくる校友会岐阜支部「岐阜千里会」の本年度総会・懇親会が11日、約70人が参加して岐阜市長良福光の都ホテル岐阜長良川であった。いずれもOBのイビデン(大垣市)青木武志社長、文溪堂(羽島市)水谷泰三社長、岐阜新聞社の矢島薫社長のクロストークがあり、学生時代を振り返った。

青木社長は、40種ほどのアルバイトを経験してさまざまな組織の姿から学びを得たという「周りを巻き込むことで実行に移せることを、学生時代に教わった」と懐かしんだ。水谷社長は、父との約束だったという教員免許の取得を巡る履修の苦労を振り返り「学校の先生の大変さがよく分かる。今の仕事につながっている」と語った。

総会では活動報告、会計報告を承認した。

(山田俊介)